

# 2007年 日本移民学会ワークショップ

**8月4日(土) 13:00~17:00**

## 戦後沖縄における韓国人労働者

外村 大 (東京大学教養学部 総合文化研究科 准教授)

羅 京洙 (早稲田大学 アジア研究所 助手)

コメント 野入直美 (琉球大学法文学部)

1970年前半、沖縄では一時的に大量の労働力が必要となり、さとうきびの収穫とパイナップルの製造のために韓国人労働者が雇用された。この報告では、当時の新聞や行政当局の資料、沖縄および韓国での関係者からの聞き取りに基づき、韓国人労働者の「導入」/送出国の経緯と、具体的な数、労働の実態、行政当局・労働組合・地元住民などの対応などを明らかにしていく。 (日本移民学会 2006年度共同研究成果報告)

● 海外移住資料館 見学 (17:00~18:00)

● 懇親会 (19:00より 横浜中華街にて 学生割引あります)

**8月5日(日) 10:00~13:00**

## 移民を授業する ~参加型ワークショップ~

森茂岳雄、中山京子ほかによるテーマ別ワークショップ・教材学習の実践体験  
(詳細は裏面を参照)

**会場 JICA 横浜 海外移住資料館** 横浜市中区新港 2-3-1

(最寄り駅) みなとみらい線馬車道駅、みなとみらい駅/JR・市営地下鉄桜木町駅、関内駅

**参加費 無料**

\* 参加ご希望の方は、①お名前 ②所属 ③参加したいワークショップのテーマ をご記入のうえ、7月31日までに、右のEメールまたはFAXにてご連絡ください。 [imin07workshop@gmail.com](mailto:imin07workshop@gmail.com)

詳しくは日本移民学会ホームページをご覧ください。

TEL/FAX 075-531-9102

(ワークショップ担当 坂口満宏)

# 移民を授業する

## 日本移民学会ワークショップ

日時：2007年8月5日(日)10時～13時 会場：JICA横浜海外移住資料館

### 主旨説明「移民を授業する」(中央大学 森茂岳雄) (20分)

日本の学校教育において移民に関する学習を行う意義と、その教材開発の実際について、現在、移民学習の教材開発を進めている多文化社会米国理解教育研究会(代表：森茂岳雄)や海外移住資料館の取り組みを中心にショート・レクチャーをします。

### アウトリーチ学習教材「ニッケイ移民トランク」の開発

(京都ノートルダム女子大学 中山京子) (15分)

移民について学習するための教材を詰めた貸し出し用スーツケース教材「ニッケイ移民トランク」を紹介いたします。「見る・聞く・読む・触る・体験する」を詰め込んだ教材が満載です。



## テーマ別 ワーク ショップ (80分)

小学校、中学校、高等学校において、「移民」をテーマにした教材開発や授業実践が進んでいます。このワークショップでは、実際に授業実践に取り組んでいる教員が小・中・高の授業を皆様と再現しながら、教材や実践を紹介いたします。**参加型ワークショップ**です。

### 盆ダンスで体感する日系文化

(小学校実践をもとに：東京学芸大学附属竹早中学校 居城勝彦)

ハワイの盆ダンスの映像から日本での盆踊りの様子との違いを考え、日系社会のアイデンティティの表し方について考えます。それらを生かして参加者の皆さんと昨年夏にオアフ島で踊られた「ズンパ節」などを一緒に踊ります。

### BENTOの写真からハワイ社会を読む

(中学校実践をもとに：同志社中学校 織田雪江)

ハワイの様々なBENTOの写真イラストをしながら、移民がもたらすハイブリットな文化の豊かさに気づき、ハワイの産業の移り変わりを表すグラフなどの図表や紙芝居から日系移民の歴史的背景をグループで学びます。

### 演劇的手法を用いた強制収容疑似体験

(中学校実践をもとに：東京学芸大学附属竹早中学校 上園悦史)

第二次世界大戦中の日系人強制収容所での経験を演劇的手法を用いて疑似体験します。日系人の生活などに関するインタビュー記事やビデオを視聴し、太平洋戦争が日系人にもたらした影響について考えをまとめていきます。

### レシテーション活動—日系の人たちのことば—

(高校実践をもとに：東京学芸大学附属高等学校 大泉校舎 小松万姫)

英語を用いた国際理解の授業における、日系の人たちのことばを使ったレシテーション活動を紹介いたします。様々なことばを紹介しながら、生徒が移民の多様性について学んでいった過程を報告します。

### ケータイで移民カルタづくり

(高校一般実践をもとに：富山大学 田尻信壹)

参加者の皆さんで「いろは48」枚の絵札の割り当てを決め、海外移住資料館内で展示品を携帯電話内蔵のカメラで写真に撮って絵札をつくり、それにそった読み札を考えます。(赤外線送信できる携帯電話をご持参下さい。)



## 各ワークショップからの報告(参加者より) (20分)

### アンケート、移民トランクの公開

(多文化社会米国理解教育研究会 福山文子) (20分)

ワークショップのアンケート記入をお願いします。また、「ニッケイ移民トランク」を自由に手に取ってご覧ください。

(\*参加者には、本ワークショップで使用する多文化社会米国理解教育研究会編『移民を授業する-日系アメリカ人学習活動の手引き-』及び海外移住資料館『学習活動の手引き』を差し上げます。)



## 2007 年度日本移民学会ワークショップ 参加申込書

ワークショップ・プログラムの教材を準備する必要がありますので、お手数ですが、下記の要領に従い、Eメールまたは FAX にて事前にお申し込みくださいますようお願いいたします。

締め切り 7 月 31 日(火曜日)

● Eメールでお申し込みの方へ

\* Eメール件名欄に「移民学会ワークショップ申し込み」と記入してください。

\* 下記の申込書をコピー&ペーストして、ご記入のうえ、

imin07workshop@gmail.com

までご送信ください。

● FAX でお申し込みの方へ

下記申込書にご記入のうえ、075-531-9102 までご送信ください。

( 2007 年度日本移民学会ワークショップ 参加申込書 )

1、お名前	
2、所属	
3、参加するプログラム	<input type="checkbox"/> ① 8 月 4 日 <input type="checkbox"/> ② 8 月 5 日 下記のテーマ1つに○印をつけてください A 盆ダンス B BENTO の写真から C 強制収容所疑似体験 D レシテーション活動 E ケータイで移民カルタ
4、懇親会	<input type="checkbox"/> 参加する(会費は一般 4000 円程度、学生 3000 円程度)